

安全データシート

製品名 しゅう酸塩 pH 標準粉末 (pH1.68)

作成日 2013 年 2 月 28 日

改訂日 2015 年 11 月 28 日

1 化学名及び会社情報

| | |
|----------|------------------------|
| 化学品の名称 | しゅう酸塩 pH 標準粉末 (pH1.68) |
| 会社名 | 京都電子工業株式会社 |
| 住所 | 京都市南区吉祥院新田二の段町 68 |
| 担当部門 | 品質保証部 |
| 電話番号 | 075-691-4121 |
| FAX 番号 | 075-691-4127 |
| 緊急時の電話番号 | 075-691-4125 |
| 整理番号 | GHS-0109 |
| 品目コード | 12-04816-01 |

2 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|-----------|------------------|-------|
| 物理化学的危険性 | 水反応可燃性化学品 | 区分外 |
| 健康に対する有害性 | 皮膚腐食性／刺激性 | 区分 1A |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分 1 |

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策

 粉じんまたはミストを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器を法令に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 単一製品
 化学名(一般名) 二しゅう酸三水素カリウム二水和物

| 成分名 | 含有量 | 化学式(構造式) | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | CAS No. |
|----------------------|---------|---|-----------------------|-----------|
| 二しゅう酸三水素 カリウム二水和物 | 99.8%以上 | $\text{KH}_3(\text{C}_2\text{O}_4)_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ | 2-922 | 6100-20-5 |

GHS 分類に寄与する不純物 なし
 及び安定化添加物

4 応急措置

吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
 皮膚に付着した場合 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
 眼に入った場合 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
 飲み込んだ場合 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
 応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5 火災時の措置

消火剤 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
 使ってはならない消化剤 特になし
 特定の消火の方法 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
 初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
 消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を避難させる。
 環境に対する注意事項 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
 回収、除去 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。
 二次災害の防止法 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 皮膚に付けたり、粉じんを吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
 注意事項 密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。取扱いは、換気のよい場所で行う。

| | |
|--------------|---|
| 安全取扱い注意事項 | 酸化剤と接触させない。 |
| 保管 | |
| 保管条件 | |
| 適切な保管条件 | 容器は密栓して冷暗所に保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等 |
| <hr/> | |
| 8 暴露防止及び保護措置 | |
| 設備対策 | 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。 |
| 管理濃度 | 作業環境評価基準(2005)未設定 |
| 許容濃度(暴露限界値) | |
| 日本産業衛生学会 | 未設定 |
| ACGIH | 未設定 |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | 防じんマスク |
| 手の保護具 | 不浸透性保護手袋 |
| 眼の保護具 | ゴーグル型保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護眼鏡等 |
| <hr/> | |
| 9 物理的及び化学的性質 | |
| 物理的状態 | 無色から白色の結晶または結晶性粉末 |
| 臭い | データなし |
| pH | 1.68 (25°C) |
| 融点・凝固点 | 分解 |
| 沸点 | 分解 |
| 引火点 | データなし |
| 発火点 | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度(空気=1) | データなし |
| 比重(密度) | データなし |
| 溶解性 | 水に対する溶解性:可溶 有機溶媒に対する溶解性:エタノールに難溶 |
| オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度 | データなし |
| <hr/> | |
| 10 安定性及び反応性 | |
| 安定性 | 通常条件で安定である。 |
| 危険有害性反応可能性 | 酸化剤と接触すると反応することがある。 |
| 避けるべき条件 | 日光、熱 |
| 混食危険物質 | 酸化剤 |

危険有害性のある分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く) データなし

11 有害性情報

急性毒性

経口 データ不足のため分類できない。

経皮 データ不足のため分類できない。

吸入(蒸気) データ不足のため分類できない。

吸入(粉じん、ミスト) データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分 1A)
本物質のデータはないが、しゅう酸は皮膚を腐食するので区分 1A とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

重篤な眼の損傷(区分 1)
本物質のデータはないが、しゅう酸は皮膚を腐食するので区分 1 とした。

呼吸器感作性または皮膚感作性

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器・全身毒性-単回暴露

データ不足のため分類できない。
粉じんを吸収すると、気道が刺激されることがあるが、データ不足のため分類できない。

特定標的臓器・全身毒性-反復暴露

データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性

データ不足のため分類できない。

12 環境影響情報

移動性 データなし

残留性・分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

生態毒性

魚毒性

水生毒性(急性) データ不足のため分類できない。

水生毒性(慢性) データ不足のため分類できない。

13 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物

可燃性溶剤と混合して、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。又は都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

容器

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14 輸送上の注意

国際規制

| | |
|----------------------|------|
| 国連番号 (UN No.) | 2811 |
| 国連分類 (Class or Div.) | 6.1 |
| 容器等級 (Packing group) | III |
| 緊急時応急措置指針番号 | 154 |

使用者が構内若しくは構外の輸送若しくは輸送手段に関連して知る必要がある、又は従う必要がある特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15 適用法令

| | |
|-----------|-----------------------|
| 毒物及び劇物取締法 | 劇物 |
| 労働安全衛生法 | 該当しない |
| 船舶安全法 | 危規則第3条危険物告示別表第1毒物類 |
| 航空法 | 施行規則第194条危険物告示別表第1毒物類 |
| 化学物質管理促進法 | 該当しない |
| 消防法 | 該当しない |
| 道路法 | 施行令第19条の13(通行制限物質) |

16 その他の情報

引用文献

製品安全データシート 32867 ニしゅう酸三水素カリウム二水和物(関東化学株式会社)

記載内容の問い合わせ先

| | |
|--------|--------------|
| 担当部門 | 品質保証部 |
| 電話番号 | 075-691-4125 |
| FAX 番号 | 075-691-9536 |

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料及び文献を調査したものではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。又、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上